

CASBEE® 大阪みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

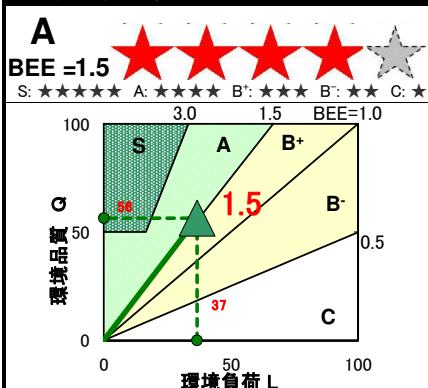
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)Osaka Metro なんばビル	
建設地	浪速区難波中1丁目	
建築用途	事務所・診療所・飲食店舗・物販店舗	
建築主	大阪市高速電気軌道(株)	
設計者	(株)大建設計	
敷地面積	1,008.30	m ²
建築面積	703.03	m ²
延床面積	6,609.96	m ²
構造/階数	S造	/ 地上10階、地下1階
完了年(予定)	2024年3月	

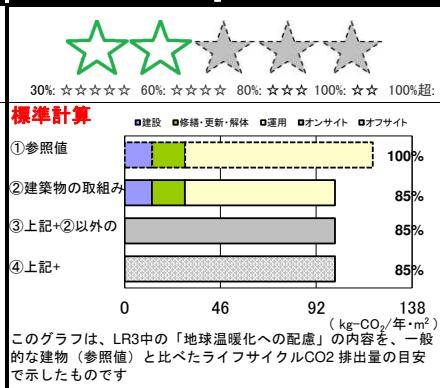
1-2 外観



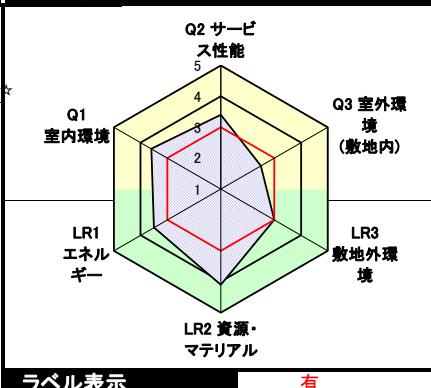
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



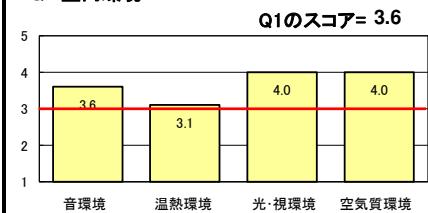
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境



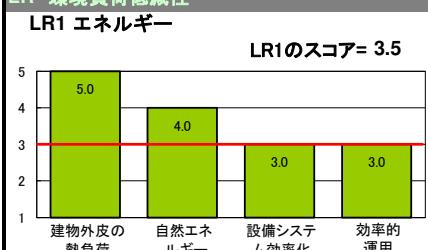
Q2 サービス性能



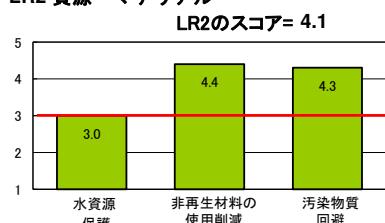
Q3 室外環境(敷地内)



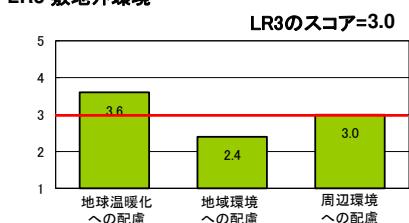
LR 環境負荷低減性



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

大阪の中心地に位置する飲食店・物販店舗等がいるオフィスビルである。地下道と直結した利便性の高い立地にあり、利用者が快適に過ごせるよう、熱負荷に十分配慮している。また適切な断熱計画や高効率設備の採用によりエネルギー消費量削減に配慮した計画としている。

Q1 室内環境

東側の高速道路の騒音に対して南東面は高い開口遮音性能により音環境に配慮。南東面・南面はガラスカーテンウォールを採用することで光環境に配慮し、化学汚染物質対策により空気室環境に配慮している。

LR1 エネルギー

適切な断熱計画、方位別の日射制御の高い窓ガラスの採用により建物の熱負荷抑制に配慮している。

その他

特になし。

Q2 サービス性能

高度情報化通信設備を導入することでレイアウト変更や設備容量の変更などフレキシブルに対応可能な機能性の向上に配慮している。

また、長い更新間隔をもつ配管材の採用や非常用発電機の設置等による建物耐用性・信頼性の向上にも配慮している。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地周囲の地上緑化や壁面緑化を行い積極的な緑化計画により環境保全と温熱環境の改善に配慮すると共に景観に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

節水機器等の採用により水資源保護に配慮し、リサイクル材や持続可能な森林から産出された木材の採用により資源保護に配慮している。

LR3 敷地外環境

屋上室外機置場廻りは、防音ルーバーを設置し騒音値を低減させている。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1) CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3 / 1 / / 地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(2) みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3 / 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(3) 建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1 / 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(4) エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1 / 3 / / 設備システムの高効率化	3.0
配慮事項	特になし。

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 - (相当)	0.74
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.80	
住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.80